HITACHI
Inspire the Next

日立電気温水器

スタンダードマイコンタイプ
取扱説明書

8時間通電制御/時間帯別電灯型

標準圧力型 ・ 1ヒーター

BE-Z37F
BE-Z46F

- 製品の仕様の違いにより、形式の末尾に「M」がつくことがあります。電源 ON または OFF 時、動作確認のため、一瞬漏水検知の接点が ON しますので、ご注意ください。
- このたびは日立電気温水器をお買い上げいただきありがとうございます。本品の機能を十分発揮させて効果的にご利用いただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分理解してください。
- お読みになった後は、いつでも取出せるよう大切に保管してください。

もくじ

ご使用のまえに…

安全上のご注意 …… 1
ご使用上の注意 …… 5
電気温水器のおはなし …… 6
混合栓のおはなし …… 6

各部の名称とはたらき

本体 …… 7

使用方法

電気温水器使用準備 …… 8
温度調節の方法 …… 9

こんなとき

1か月以上使用しないとき …… 10
凍結防止について …… 11
日常のお手入れと点検 …… 12
断水のとき …… 14
故障かなと思ったら …… 15
こんなときは故障ではありません …… 15
ﾀﾝｸのお湯（水）の非常時使用のしかた 16
仕様 …… 17
保証とアフターサービス

17B46372A

安全上のご注意　必ずお守りください

ここに示した注意事項は、電気温水器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害と損害を未然に防ぐために必要な重要事項です。
記載内容をよく理解し必ずお守りいただいて電気温水器を正しく安全にご使用ください。

■ ここに示した注意事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

危害や損害とその程度の区分	
⚠ 警告	この表示の欄は、「誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「誤った取扱いをすると、人が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例	
⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
⃠	してはいけない「禁止」内容のものです。
❗	実行していただく「指示」内容のものです。

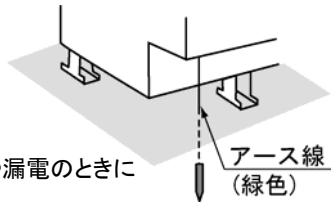
据付け後の確認

工事が適正に完了しているか、お買い上げの販売店、工事店の方とご一緒に確認してください。

⚠警告

アース工事

アース工事を確認する



- アースがされていないと、故障や漏電のときに感電することがあります。

⚠注意

確認

脚（3か所）がアンカーボルトで、本体上部を転倒防止金具で固定されているか確認する

- 固定されていないと、地震などにより本体が倒れてけがをすることがあります。

禁止

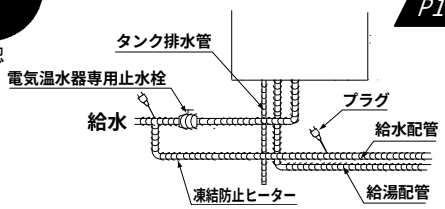
防水処理・排水処理されていない床面には設置しない

- 処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながることがあります。

確認

配管の凍結防止対策の確認をする

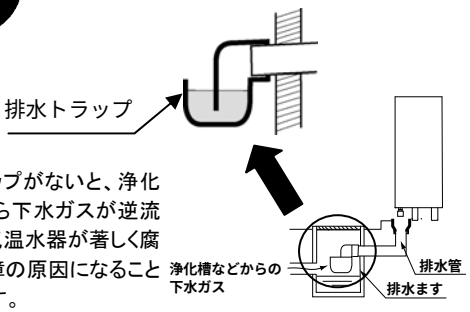
P11



- 凍結すると、タンクや配管が破裂し、やけどや水もれをすることがあります。

確認

排水トラップを設置する



排水トラップがないと、浄化槽などから下水ガスが逆流して、電気温水器が著しく腐食し、故障の原因になることがあります。

確認

給水器具の仕様を確認する

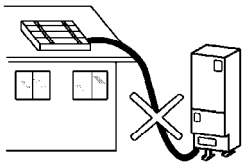
単水栓　シングルレバー　サーモスタット付

- 給水器具は、必ず逆止弁付を使用してください。
- シャワー用は、必ずサーモスタット式の逆止弁付湯水混合栓を使用してください。
- 給湯専用に単水栓は使用しないでください。タンクの熱い湯がそのまま出ますので非常に危険です。

禁止

太陽熱温水器のお湯を給水管につながない

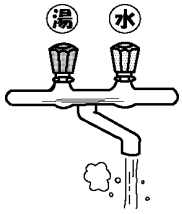
・太陽熱温水器との接続はできません。故障の原因になります。



⚠警告

やけど注意

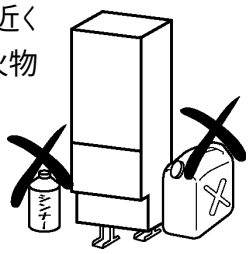
湯水混合栓は水から開く



- まず水栓を開いてから、湯栓を徐々に開いて適温にしてください。湯栓だけを開くと熱湯が出る場合があり非常に危険です。

禁止

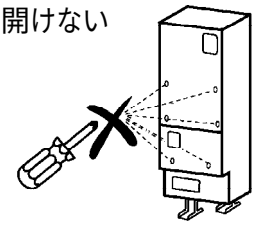
電気温水器の近くにガス類や引火物を置かない



- 発火や火災になることがあります。

分解禁止

前面カバーを開けない



- 開けると、感電することがあります。

異常（こげ臭いなど）時は、漏電遮断器の電源スイッチを「切」にし、販売店に連絡する

P7

異常のまま使用すると、故障や感電、火災の原因になります。

やけど注意

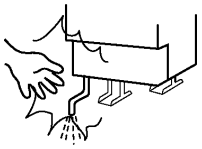
タンクの湯は、熱湯のまま排水しない

- 熱湯のまま排水すると、やけどをしたり、排水管などが破損することがあります。必ずタンク内を水にしてから排水してください。

P10

やけど注意

タンクの排水時は、お湯に手を触れない



- 熱いお湯が出てやけどをすることがあります。

P10

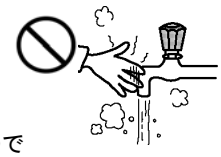
やけど注意

お湯の使いはじめに注意する

- 朝の使いはじめは、空気の混ざった高温の湯が飛び散り、やけどをすることがあります。

やけど注意

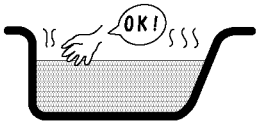
給湯時は湯水混合栓に手を触れない



- 湯水混合栓も熱くなりますのでやけどをすることがあります。

やけど注意

浴そうの湯温を指先等で確かめてから入浴する



- 湯温を確認しないと、やけどをすることがあります。

やけど注意

シャワーや台所・洗面所でお湯を使うときは、湯温を指先等で確かめる

- 湯温を確認しないと、やけどをすることがあります。

やけど注意

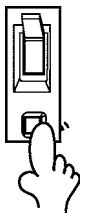
逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない

- やけどをすることがあります。

動作確認

漏電遮断器の動作を確認する

P12



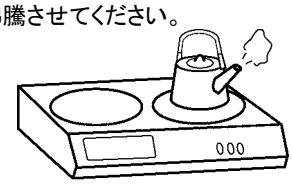
- 故障のまま使用すると、感電することがあります。

必ずお守りください

⚠注意

そのまま飲用しない

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず沸騰させてください。

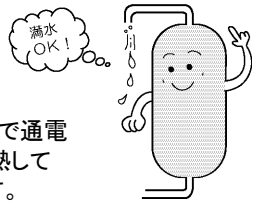


- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 熱いお湯がでてくるまでの水（配管にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、販売店へ点検を依頼してください。

満水確認

通電はタンクを満水にしてから行う

P8



- タンクに水がない状態で通電すると、ヒーターが過熱して故障の原因になります。

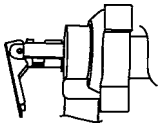
断水時は、シャワーや混合水栓を閉める。

- 開けっぱなしにしておくと、再度送水されたときに混合水栓から湯(水)が出ます。

点検

逃し弁の点検をする

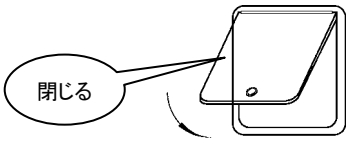
P13



- 点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。また、水漏れにより、電気代、水道代が高くなったり、家屋などへの不具合が発生することがあります。

操作カバーは閉じる

P7



- 開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

電源確認

1か月以上使用しないときは、漏電遮断器の電源スイッチを「切」にし、タンクの湯を排水をする

P10

- 排水しないと水質が変化することがあります。

冬期、電源スイッチを「切」にする場合は、タンクと配管の水抜きをする

P10

タンクが満水のまま電源スイッチを「切」にすると、配管が凍結し、水漏れや故障の原因になります。

積雪時には除雪をする

- 電気温水器の周囲に積雪すると、誤作動や故障の原因になります。

禁止

機器に乗ったり、物を載せたり、配管に力を加えたりしない

- 事故・やけどの原因になります。

ご使用上の注意

お湯の量には限りがあります

１日に使用できるお湯の量は限りがあります。
お湯の使いすぎに注意してください。
流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。

- シャワーは止めながら
  （髪を洗っているときは止めましょう）
- 洗いものをするときも止めながら

湯はりをするときのお願い

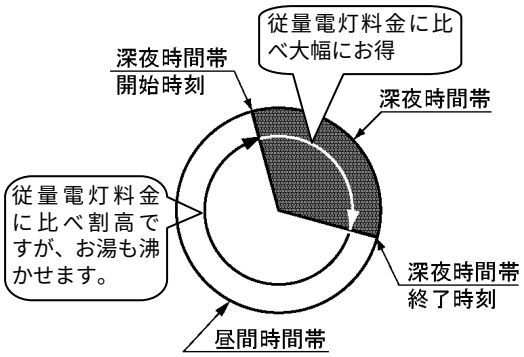
湯はりをするときは、次のことをご確認ください。

- 排水栓が閉まっていることを確認
- 湯はり温度が適温であることを確認
  まず水栓を開いてから湯栓を徐々に開いて適温にして湯はりをしてください。

■ 電力契約について

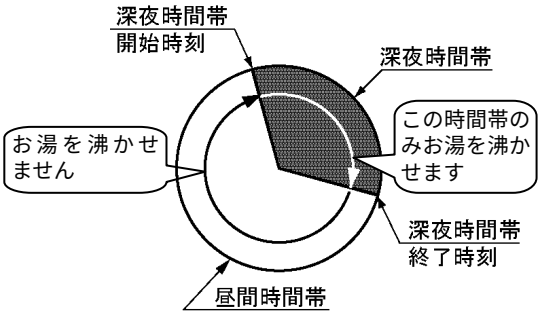
本製品のご使用にあたって、あらかじめ電力会社と時間帯別電灯契約または深夜電力契約を結んでください。契約方法、内容については各電力会社にお問い合わせください。

時間帯別電灯契約



ご家庭で使用するすべての電力を上図のように２つの時間帯に分けて電力料金を算出します。昼間時間帯にもお湯を沸かすことができるので、たくさんお湯を使用されるご家庭でも安心してお湯を使用できます。また、食洗機や洗濯機などの家電機器を割安な深夜時間帯に利用するとさらに経済的です。

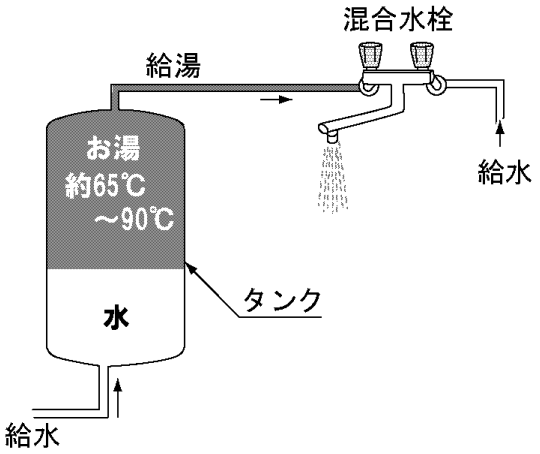
深夜電力契約＋従量電灯契約



深夜時間帯のみ、お湯を沸かします。お湯を沸かすための電気代は、深夜電力を利用するのでたいへんお得になります。家電機器使用の電気代は、深夜時間帯/昼間時間帯にかかわらず従量電灯料金が適用されます。

電気温水器のおはなし

電気温水器は、タンクに貯えた水を電気代のお得な深夜電力を利用して沸き上げ、台所や洗面所、おふろなどでお湯が使えるようにする機器です。お湯は、タンク内に内蔵した電気ヒーターで沸き上げます。



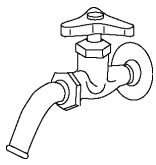
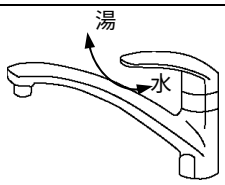
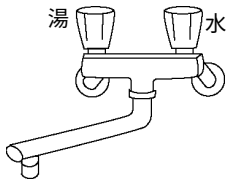
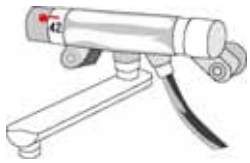
1 混合水栓を開いてお湯を使うと、使った分だけ自動的にタンクの下から給水します。朝はお湯で一杯だったタンクは、お湯を使うたびに水の部分が増えていきます。

2 お湯として使える量は、給湯に使うほか、放熱などにより徐々に少なくなってきます。

3 タンクのお湯は、そのままでは熱いので水と混ぜて使います。ですから実際に使えるお湯の量は、およその目安としてタンク容量の 2 倍くらいになります。
（沸き上げの温度や水道水の温度によって実際に使える湯量は異なります）

混合栓のおはなし

電気温水器を安全、便利にご使用いただくためには、各給湯個所に取り付ける湯水混合栓（蛇口）も大切な役割があります。ご家庭で一般的にお使いになる湯水混合栓には下表のような種類があります。

	単水栓	シングルレバー	ツーハンドル	サーモスタット付
外　観				
概　要	お湯または水専用の水栓です。お湯の場合、タンク内の高温のお湯がそのまま出ます。	レバーを左右に操作して温度調節を、レバーを上下に操作して湯量の調節を行います。	お湯側、水側それぞれのハンドルを操作してお湯の温度や湯量を調節します。	混合水栓部で温度の設定ができます。シングルレバー、ツーハンドルに比べ温度の変化が少なくなります。

・シングルレバーの混合栓は、出湯、停止、温度や湯量の調節が簡単にできるので台所やシャンプー機能のない洗面所に向いています。

・サーモスタット付混合栓は、おふろやシャンプー機能付の洗面台で使用します。お湯を直接からだや頭にかけますので、あやまって熱い湯がでると大変危険です。サーモスタット付混合栓は、出湯温度が安定しやすく、より安全にお湯をご使用いただけます。

■ レバー、ハンドルの開閉は水側からゆっくりと

・混合栓を開く時は、水側から開き湯温を確かめながらお湯を出します。

各部のなまえ（本体）

タンク

漏電遮断器　操作カバー

電源灯

切替スイッチ

電　源
スイッチ

たっぷり

おまかせ

温度調節

テストボタン

電源スイッチ：電源を「入」「切」します。
テストボタン：漏電遮断器が正常に動作するか確認します。
電源灯　　：200V 電源が通電されているときに点灯します。
切替スイッチ：スイッチが押されている側が設定側となります。

逃し弁　操作カバー

開

閉

通常は「閉」にしておきます。タンク沸き上げ時は、逃し弁からの膨張水をタンク排水管より排出し、タンク内を一定圧力以下にします。

排水栓

タンクのお湯を排水するときに使用します。また、非常用の取水口として使用できます。

P10　P16

ねじ

▽ 通常

排水 ▷

◁ 非常用水

ハンド ル

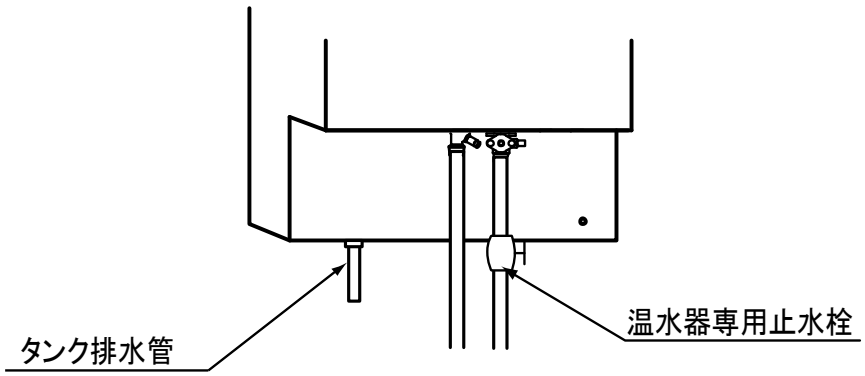
タンクのお湯を排水するときはハンドルを左に 90 度回して「開」にします。

排水口

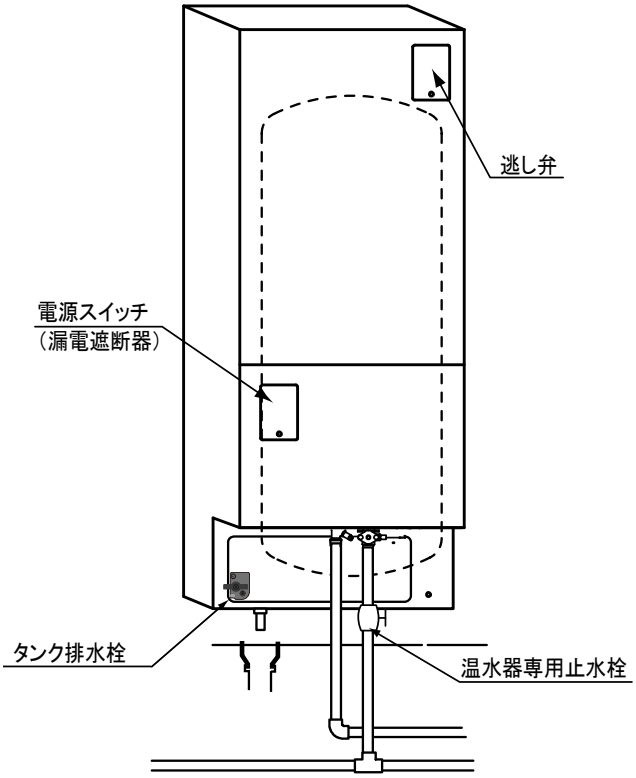
この部分にタンク排水管が接続され排水溝につながっています。沸き上げ中には、少量のお湯を排水します。また、タンクのお湯を排水するときもこの排水口から排水します。

■止水栓、水抜き栓の位置

電気温水器専用止水栓の取り付け位置やタンク排水管の長さ・形状は、据付状況により異なります。詳しくは、据付工事店にお問合せください。



電気温水器使用準備



1 タンクを満水にする

① すべての湯水混合栓が閉じていることを確認する。

② 電気温水器のタンク排水栓、水抜き栓を閉じる。

③ 逃し弁を開ける。 P7

④ 水道の元栓と電気温水器専用止水栓を開いてタンクに水を入れる。タンクが満水になると、タンク排水管から水が出ます。満水までの所要時間は約 30～50 分です。

⑤ 満水になったら逃し弁を閉じる。

⑥ 水道の元栓、電気温水器用止水栓は開いておく。

2 電源を入れる

① 200V の元電源ブレーカを「入」にする。

② 電気温水器の電源スイッチを「入」にする。

③ タイムスイッチにより夜になりますと電気が入り、翌朝には、お湯が沸いています。

※（1）8 時間通電型の場合

昼間の沸き増しはできません。

（2）時間帯別電灯型の場合

別売のリモコン(BER-3A)を使用することで昼間の沸き増しが可能です。

3 お湯を使う

混合水栓(湯側)を開くとタンクのお湯(高温)が出てきますので、必ず混合水栓(水側)を先に開いて、適温に調節してからお使いください。

必ずタンクを満水にしてから通電する

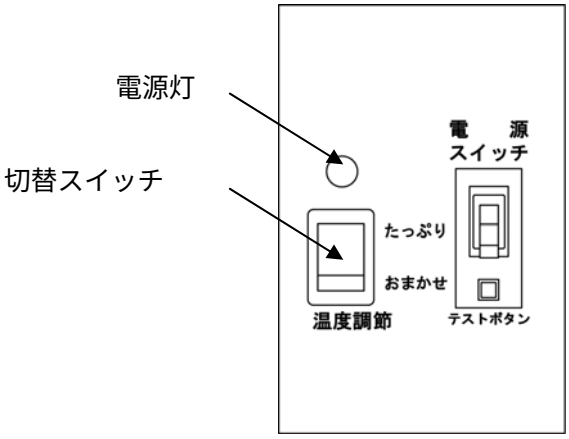
・電源スイッチは、タンクが満水になるまで「入」にしないでください。

・タンクに水がない状態で通電すると、ヒーターが過熱して故障の原因になります。

温度調節の方法

ご注意

●別売リモコン（BER-3A）を接続して使用する場合、本体側では操作できません。この場合リモコン側で操作しますのでご注意ください。
詳しくは、リモコンの取扱説明書をお読みください。



1　沸き上げ温度の調節

沸き上げ湯温は２種類の設定ができます。

■たっぷり
約 90℃に沸き上げます。

■おまかせ（自動温度設定）
過去の使用湯量から翌日の使用湯量を予測し、約65℃～90℃に沸き上げます。

※初めてお使いになるときは、「たっぷり」に設定されています。

電源灯　　：200V 電源が通電されているときに点灯します。
切替スイッチ：スイッチが押されている側が設定側となります。

■　上手な使い方

・来客などで使用湯量が急増する場合や熱いお湯が必要なときなどは、前日に切替スイッチを「たっぷり」に設定しておいてください。

ご注意

●「おまかせ」に設定した場合、過去のお湯の使用量が少ないと翌日の沸き上げ温度が低くなります。
●設定した湯温は、沸き上げ直後のタンク内の温度で、時間の経過とともに少しずつ低下します。
また混合水栓から出るお湯は配管の放熱によって、設定温度より低くなります。
●厳寒期や残湯量が少なく給水温度が低い（15℃以下）のときは、90℃まで沸き上がらない場合があります

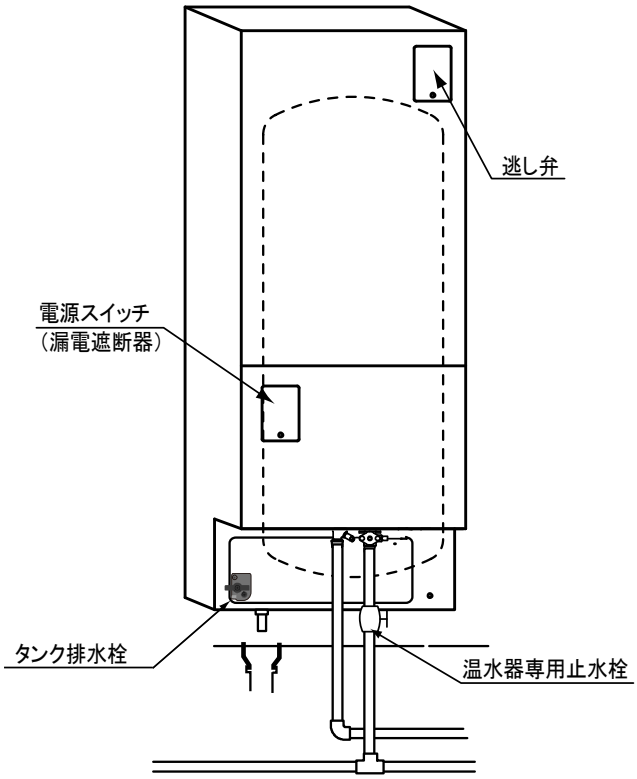
1か月以上使用しないとき

タンクの排水のしかた

１か月以上、電気温水器を使用しないときは、運転を止めタンクの水を抜きます。
なお、凍結のおそれがある場合は、お買い上げの販売店、工事店に依頼をして完全な水抜きを行ってください。本ページの水抜きでは配管に水が残り、凍結を防止できません。

Point

タンクの排水には 60～90 分かかります。



1 台所などの湯水混合栓を開く

・沸き増し、自動沸き増しの設定を解除します。
・熱いお湯が出なくなるまでお湯を出した後、湯水混合栓を閉じます。
タンク排水時に熱湯が排水されることを防止します。

2 漏電遮断器の電源スイッチを切る

漏電遮断器の電源スイッチを「切」にします。

3 電気温水器専用止水栓を閉じる

4 逃し弁のレバーを上げる（弁を開く）

タンクへ空気を入れ、排水できるようにします。

5 タンク排水栓を開く

タンク内の水を抜きます。
排水ホッパーから水があふれないよう排水栓のハンドルを調節します。

6 タンク排水栓を閉じる

7 逃し弁のレバーを下げる（弁を閉じる）

お願い

・電気温水器に脚カバーが付いている場合は、ねじを外し、カバーを外して作業し、作業終了後は、カバーを取り付けてください。

再び使用するとき

- 再び使用するときは「電気温水器使用準備」P8 の手順を行ってください。

凍結防止について

各配管に保温工事がしてあっても、電気温水器周囲温度が 0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損することがあります。
寒冷地だけでなく、暖かい地域でも凍結することがありますので、据付工事店へ相談して適切な凍結防止対策を行ってください。

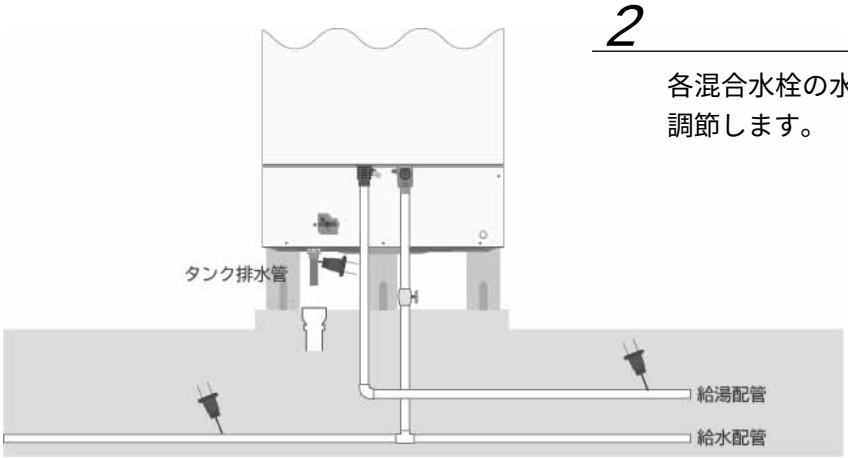
1 凍結防止ヒーターを使う

① 凍結防止ヒーターが左図のように、巻かれていることを確認します。

② 使用時はすべてのプラグをコンセントに差し込みます。凍結しない季節はプラグをコンセントから抜いておきます。

2 混合水栓を少し開いておく

各混合水栓の水側を開け、わずかに水が出るように調節します。



凍結した場合の処置

湯水混合栓の湯側を開いても、お湯（水）が出ないなど、配管が凍結したと思われる現象が出たときは、電気温水器専用止水栓を閉じて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

日常のお手入れと点検

長く、安全にご使用いただくためお手入れと点検を行ってください。

1 日常のお手入れ

■リモコンの掃除

リモコンの表面が汚れが落ちにくいときは、水に濡らした布を固く絞って拭き取ってください。
ベンジン・シンナーなどは、リモコンの変形や変色の原因になりますので使用しないでください。

■電気温水器表面のお手入れ

汚れは乾いた布でふくか、布に台所用洗剤をうすめてふくませ軽く絞ってふいてください。
洗剤使用後は、布をよく水洗いし固く絞って洗剤をふきとってください。
シンナーなどの溶剤は、塗装面をいためますので使用しないでください。

2 月に 1 度のお手入れと点検

■ 時刻の確認

リモコンの時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。月に一度は時刻を確認し、正確な時刻に合わせてください。(別売リモコン BER-3A 使用時)

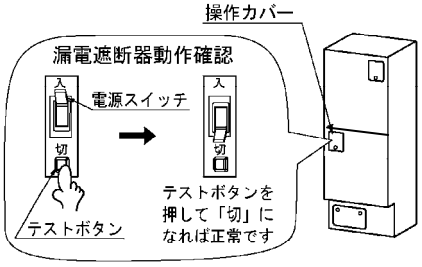
■ 漏電遮断器の点検

漏電遮断器は、万一漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。
漏電遮断器は、操作カバー内に配置していますので動作確認をしてください。
深夜電力契約でご使用いただいている場合は、深夜時間帯に行ってください。時間帯別電灯でご契約の場合は、いつでも点検できます。

警告

漏電遮断器の動作確認をする。
故障のまま使用すると感電することがあります。

①テストボタンを押す。
　電源スイッチが「入」→「切」になれば正常です。
②電源スイッチを「入」に戻します。



テストボタンを押しても「切」にならない場合は、電源ブレーカーまたは電源スイッチを「切」にして、お買い上げの販売店にご連絡ください。

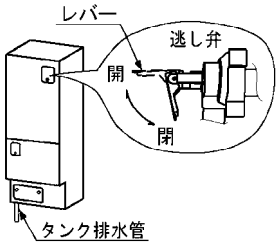
■ 逃し弁の点検

逃し弁は沸き上げ時、膨張水を排出しタンク内が高圧になるのを防ぎます。逃し弁の点検は、沸き上げ時(台所リモコンに「沸き上げ中」が点灯)に行わないでください。

⚠ 警告

逃し弁点検時は、配管に手を触れない。手を触れるとやけどをすることがあります。

逃し弁は高い位置にありますので、踏み台などを使用して点検してください。点検時は、転倒しないように注意してください。



①タンク排水管からお湯(水)が出ていないことを確認する。
②逃し弁のレバーを上げて、タンク排水管からお湯(水)が出ることを確認する。
③逃し弁のレバーを下げてお湯(水)が止まることを確認する。お湯(水)が止まらないときは、レバーを２～３度上げ下げしてください。

レバーを上げたときにタンク排水管から、お湯(水)が出ない場合や、レバーが下がっているのにお湯(水)がでる場合は、弁類の故障が考えられます。
電源スイッチを「切」にしてお買い上げの販売店にご連絡ください。

・点検後は、必ず逃し弁のレバーを下げてください。
・沸き上げ中は、タンク排水管から少量のお湯（膨張水）を排水します。

■ 配管の点検

電気温水器の周囲が漏れていないか、保温材が傷んでいないか点検してください。
特に集合住宅（マンション）では、水が漏れると階下に被害を与えます。ドレンホースから水がでていないことを確認してください。

■ タンクのそうじ

使用中、タンク底部に湯あかなどの沈でん物がたまります。
タンクの湯を排水することにより、タンク内の沈でん物を除去します。
タンクのそうじは、沸き上げ時(台所リモコンに「沸き上げ中」が点灯)に行わないでください。

①電気温水器専用止水栓を閉め、逃し弁のレバーを上げます。
②排水栓を開けて約２分間排水してください。
③排水栓を閉じ、電気温水器専用止水栓を開けます。
④タンク排水管から湯（逃し弁からの湯）がでてきたら、逃し弁のレバーを下げます。
⑤タンク排水管から湯が出ないことを確認してください。湯が止まらない場合は逃し弁のレバーを 2～3 度上げ下げしてください。

⚠ 警告

タンクの排水時は、お湯に手を触れない。やけどをすることがあります。

逃し弁のレバー、電気温水器専用止水栓、排水栓の位置は P7 を参考にしてください。

また、半年に 1 回「タンクの排水のしかた」P10、「電気温水器使用準備」P8 に従ってタンクの排水、給水を行ってください。

■定期点検契約（有料）のおすすめ

電気温水器を長期間安心してお使いいただくために、3～4 年に 1 度、専門技術者による定期点検（有料）を行ってください。

なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は 3～4 年に 1 回程度をおすすめします。

定期点検につきましては、お買い上げの販売店または当社サービスエンジニアリングセンタへご相談ください。点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

定期点検の主な項目

項　目	内　容
据付状態の点検	・設置状態の点検・配管接続部の水漏れ点検 ・配管、その他の保温状態の点検 ・電気絶縁の点検
機能部品の点検	・電気部品（配線、導通、動作の確認）の点検 ・弁類（減圧弁、逃し弁）の点検
清掃	・タンク内の清掃（沈殿物の除去など） ・給水ストレーナの清掃

＜消耗部品（有料）について＞
逃し弁、減圧弁、パッキン類、ゴムホース、ヒーター、センサー類は、消耗部品です。上記部品の交換時は、当社純正部品と交換ください。

断水のとき

断水や近くで水道工事が行われるときは、電気温水器専用止水栓と全ての湯水混合栓を閉じてください。（お湯は使えません）電気温水器専用止水栓を閉じないと、タンクや配管内ににごった水が入ったり、逆流して電気温水器が故障する場合があります。また、電気温水器専用止水栓や湯水混合栓などが開いていると、再度送水されたときに混合栓から湯(水)が出てしまいます。

断水終了後は、湯水混合栓の水側のみを開き、水の汚れがなくなるまで水を出してから、電気温水器専用止水栓を開いてください。

故障かなと思ったら

こんなときは調べてみましょう

症　　状	原　　因	処　　置
お湯が出ない お湯の出が悪い	電気温水器専用止水栓が閉じている	電気温水器専用止水栓を開いてください。
	断水している／給水圧が低い	断水が終わるのを待ってください。
	配管が凍結している	お買い上げの販売店へご連絡ください。
お湯がぬるい お湯が足りない ※別売リモコン BER-3A 使用時	深夜時間帯にお湯をたくさん使用した	沸き増しをしてください。 深夜時間帯に大量のお湯を使うと、翌朝、充分に沸き上がらないことがあります。
	いつもに比べてお湯をたくさん使用した	沸き増しをしてください。 お湯をたくさん使う予定があるときは、前日に沸き上げ設定を「たっぷり」に設定してください。
タンク排水管から水が出ている	沸き上げ中に膨張水の排出を行っている	沸き上げ中は、タンク内の水の膨張水を排水します。通常一晩で 10L～20L排水するのが正常です。
	逃し弁など弁類の故障です	逃し弁の点検を行なってください。

こんなときは故障ではありません

■ 浴そうのお湯が青く見える

光の波長や、浴そうの色によって浴そうのお湯が青く見えることがあります。また、配管(銅配管)から溶出したわずかな銅イオンが、石けん成分と反応して浴そうのふちや、洗面用具などが青くなることがありますが異常ではありません。

■ 夜間時間帯になっても、沸き上げを行わない

給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐに沸き上げを行いません。深夜時間帯が終了する時刻に合わせて沸き上げを完了させます。（ピークシフト機能）

■ お湯が白く濁って見える

水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。

■ お湯から油が出る、お湯が臭い

お買い上げ直後は、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

タンクのお湯（水）の非常時使用のしかた

万一、災害の時は

災害時などには、タンクのお湯を非常用生活用水として利用できます。
飲用はできません。やむを得ず飲用する場合は、必ず沸騰させてください。なお、固形物や変色、濁り、異臭、異物があった場合には、雑用水として使用してください。

1 漏電遮断器の電源スイッチを切る

カバー内に漏電遮断器があります。電源スイッチを切ってください。

2 電気温水器専用給水止水栓を閉じる

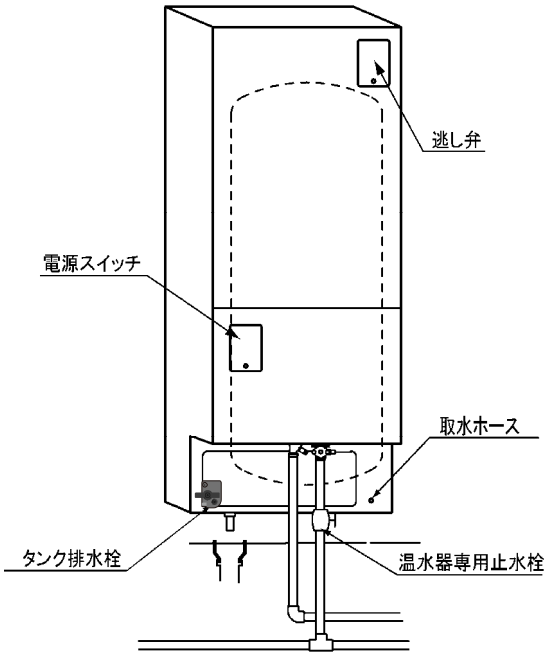
タンクへの給水を止めます。電気温水器専用止水栓の位置は据付状況により異なります。

3 逃し弁を開く

タンクへの空気を入れ、取水できるようにします。

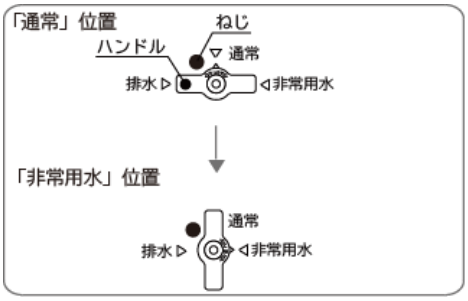
4 取水ホースを取り出す

取水ホースを引き出し、ホース先端を熱に強い容器で受けます。熱湯（最高 90℃）が出る場合があります。



5 タンク内のお湯（水）を出す

①ねじを取り外します。
②ハンドルを右に 90°回し「非常用水」位置にするとホースからお湯(水)が出ます。
③止めるときはハンドルを左に 90°回し、ハンドルを「通常」位置に合わせ、①で取り外したねじを取り付けてください。



⚠ 警告

・やけどに注意
取水中、熱湯(最高 90℃)が出る場合があります。

お願い

・電気温水器に脚カバーが付いている場合は、ねじを外し、カバーを外して作業し、作業終了後は、カバーを取り付けてください。
・取水開始時は、湯あかなどが出ますのでしばらく洗い流してください。
・取水後は、排水栓が閉じていることを確認してください。
・再び給湯機として使用するときは、お買い上げの販売店、または工事店にタンクへの給水を依頼してください。
有償です。

仕様

		仕様	
形式		BE-Z37F	BE-Z46F
用途		戸建住宅用	
設置場所		屋外・屋内兼用タイプ	
外形寸法	高さ	1835mm	2165mm
	幅	625mm	
	奥行	730mm	
最高使用圧力		97kPa	
電源		単相 200V, 50/60Hz	
消費電力	ヒーター用	4.4kW	5.4kW
	制御用	約 1W	
タンク容量		370L	460L
沸き上げ温度		たっぷり:約 90℃ ／ おまかせ:約 65～90℃	
質量	製品	60 kg	70 kg
	満水時	約 430 kg	約 530 kg

愛情点検　**長年ご使用の電気温水器の点検を！**

こんな症状はありませんか？	● 本体設置場所がいつもぬれている ● 時々漏電遮断器が『切』になる ● お湯が早くなくなる ● その他の異常や故障がある	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源ブレーカーを切り、電気温水器専用止水栓を閉じてから、販売店に点検をご相談ください。

～ＭＥＭＯ～

保証とアフターサービス

■ 保証書（添付）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。（取扱説明書、工事説明書を保証書と一緒に保管してください。）
- 保証期間は、お買い上げいただいた日からタンク缶体は５年、その他の部品は１年です。

■ 補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は製造打切後１０年です。

※補修用性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

■ 技術的なお問い合わせは

右記の「技術相談センター」へお問い合わせください。

■ 修理を依頼されるときは

●お買い上げ店へ下記をご連絡ください。
お買い上げ店が不明な場合は右記の「修理コールセンター」へご連絡ください。
1.形式（保証書に記載）
2.故障の状況
3.お名前、ご住所（付近の目印なども）、電話番号
4.お買い上げ店名

●修理料金
保証期間中：保証書の規定に従って修理させていただきます。
保証期間がすぎている場合：修理によって使用できる場合は、お客様のご希望により有料修理いたします。

ご購入年月日	年　月　日
お買い上げ店（販売店）	
	電話番号

■ 修理コールセンター

(0120)649-020(携帯電話からも可)

受付時間/365 日・24 時間受付

■ 技術相談センター

(0120)578-011(携帯電話からも可)

受付時間/9:00～17:00(土日祭日を除く)

■ サービスエンジニアリングセンタ

受付時間/9:00～17:00(土日祭日を除く)

北海道　(011)717-5146
〒060-0809
札幌市北区北 9 条西 3-10-1（小田ビル8階）

東京　(03)3649-3811
〒135-0016
東京都江東区東陽 5-29-17（住友不動産東陽ビル）

東北　(022)225-5972
〒980-0065
仙台市青葉区土樋 1-1-11

北陸　(076)429-6861
〒939-8214
富山市黒崎 627-3

中部　(0568)72-0131
〒485-0072
小牧市元町 4-66

関西　(06)6303-6159
〒532-0022
大阪市淀川区野中南 2-11-27

中国　(082)283-9374
〒735-0029
広島県安芸郡府中町茂陰 1-9-20

四国　(087)833-8701
〒760-0078
高松市今里町 2-21-5

九州　(092)561-4854
〒815-0031
福岡市南区清水 4-9-17

※所在地・電話番号などは、予告無く変更することがありますのでご了承ください。

・ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し、対応させていただくことがあります。

日立アプライアンス株式会社

〒105－8410　東京都港区西新橋2－15－12